

JALグループ、中国「JAL王朝街道キャンペーン」を実施！

～中国歴代王朝の歴史舞台を「JAL王朝エクスプレスバス」で！～

2003年9月26日

第 03085号

JALグループは、2003年11月～2004年3月の間、中国国家観光局の全面協力を得て西安線を中心とした観光需要喚起を目的に「JAL王朝街道キャンペーン」を展開致します。

「中国七大古都」に数えられる黄河沿いの西安・洛陽・鄭州・開封の四都市は、古代中国における歴史の主要舞台。とりわけ歴史遺産が豊富で、国宝級の文化財や博物館所蔵文物などが集中しています。

JALグループはこれら四都市を結ぶ道を「王朝街道」と名づけ国家観光局、河南省旅遊局の協力のもと「JAL王朝エクスプレスバス」を運行します。このバスは、品質と安全基準を満たした29人乗りのバスを使用し、全区間乗り換えがなく、中国語および日本語が堪能な有資格ガイドが1名添乗する予定です。なお、「JAL王朝エクスプレスバス」は、「JAL王朝街道キャンペーン」期間中に、キャンペーン協賛旅行会社が提供する旅行商品にご参加いただくことでご利用頂けます。

日本と中国内陸部をダイレクトで結ぶJAL西安線をご利用いただき、歴代王朝の夢と浪漫と栄華に思いを馳せる新しい中国への旅を快適なバスでゆったりとお楽しみ下さい。

JALグループでは、これまで「JALビジネスCHINA」の木目細かいサービス、及び「JAL NEW CHINA」キャンペーンにより、新しい中国へのビジネス・観光、両方の需要拡大を推進して参りました。9月1日から日本人の短期渡航にビザが不要となり、中国がより身近になりました。JALグループは充実した中国路線ネットワークをより多くのお客様にご利用頂ける様に、ビジネス・観光それぞれのニーズに合わせた旅のスタイルを提案し、成長が見込める中国路線の需要喚起を図って参ります。

◎ バス運行コース

◆ 西安 = 洛陽 = 鄭州

西安線運航スケジュール

◆東京発09:55 西安着13:30 東京 木・日曜発
◆西安発15:05 東京着20:20 西安 木・日曜発

◎ 都市の紹介

◆西安(せいあん)

* 兵馬傭坑(へいばよう)

初めて広大な中国を統一した皇帝に相応しい、そして中国の壮大なスケールにあった規模を持つ兵馬俑。(俑:人が殉死する代わりに埋めたもので日本の埴輪にあたる)その数8,000余、武士俑の背丈は180cm前後で身につけた鎧、手にもつ武器、顔まですべて異なる。戦車やそれをひく馬、兵士などで形成された大軍団の発掘現場がそのままドームで覆われ博物館となっている。

◆西安～洛陽

* 華山(かざん)

西安から東に1時間半、洛陽へ向かう高速道路から見える陝西省の聖山で中国の五岳(恒山・泰山・嵩山・衡山・華山)に数えられる。王朝バスでは車窓から眺めるだけであるが、山頂近くまでロープウェーもあるので西安からの日帰り観光地として賑わっている。華山周辺の道は、北側は渭水の平原を南側は秦嶺山脈と渭水の侵食によって出来た河岸段丘の段々畑を見ながらのドライブで、春先には小麦畑の緑と菜の花の黄色が一面に広がる美しい風景が見られる。

◆洛陽(らくよう)

* 龍門石窟(りゅうもんせつくつ)

敦煌の莫高窟、大同の雲崗石窟に並んで中国の三大石窟に数えられ、世界遺産にも登録される壮大な石窟寺院。伊河沿いの岩山に約1kmにわたって1,000以上の石窟と9万體にも及ぶ石仏が並ぶ。中でも唐代に則天武后をモデルに彫られたという盧遮那仏(写真)が最大の見所。奈良の大仏にも影響を与えたと言われており、中国から日本へつながる仏教伝来の道を感じることができる。

◆洛陽～鄭州

* 少林寺(しょうりんじ)

中国の五岳(泰山・衡山・恒山・華山・嵩山)の一つに数えられる嵩山の麓に建つ禅宗の寺。唐の太宗李世民的天下統一を助けたと言われる少林拳法の総本山で、少林寺と歴代高僧の墓地である「塔林」が主な見所となる。寺の建物内には厳しい修行のあとのくぼみや、少林拳法の歴史を示す壁画が残っている。麓の登封の街には多くの武術学校があり、練習に励む子供たちを見ることができる。

◆開封(かいほう)

* 清明上河園(せいめいじょうがえん)

繁栄を極めた北宋時代の開封の街並みと人々の生活を描いた「清明上河図」の世界をそのまま再現したテーマパーク。ただ復元した建物が建っているだけではなく、当時の食べ物を売る屋台があったり、宋代にも盛んに行なわれていた大道芸を数ヶ所で行なっていたりと色々工夫をしており、昔の街の活気を思い浮かべながら歩くのが楽しい。歴史に興味のない方でも単純に大道芸などを見るだけでも楽しめるスポット。

以 上